

## 北極域データアーカイブ Arctic Data archive System(ADS)

矢吹 裕伯<sup>2\*</sup>, 川本 温子<sup>1</sup>

YABUKI, Hironori<sup>2\*</sup>, KAWAMOTO, Haruko<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国立極地研究所, <sup>2</sup> 海洋研究開発機構

<sup>1</sup>National Institute of Polar Research, <sup>2</sup>Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

北極域は地球の中でも温暖化が最も顕著に現れている地域であり、大気・海洋・雪氷・陸域が急速に変化している。北極域研究の積極的な推進は、観測データに担うことが大きい。日本の北極域研究の推進は、これまでそれぞれの分野で独立して行ってきた。国立極地研究所では、大気、海洋、雪氷、陸域、生態、モデル等の複数分野にまたがるデータの集積・共有を行い、分野間連携及び融合を目的として、北極域データアーカイブの構築を行っている。

北極域データアーカイブは、各分野間でのデータの相互利用を図り、現場観測、収集データ、衛星データ、数値実験データ等のデータセットの構築を通して北極域の大気 海洋 陸域システムの変動の実態とプロセスの解明、地球温暖化における北極域の環境変動の影響を評価、将来予測精度の向上に貢献する。

キーワード: 北極域, 環境, 温暖化

Keywords: Arctic, Environment, Global Warming